

29年七試：志願者数確定

# 29年センター試験確定志願者数は、前年より 1万2,198人(2.2%)増の57万5,966人！

現役3年連続、既卒者3年ぶりの増加。現役志願率43.9%で過去最高。

旺文社 教育情報センター 28年12月

大学入試センターはこの程、29年1月14・15日に実施される29年センター試験の確定志願者数を発表した。志願者数は57万5,966人で、28年より1万2,198人(2.2%)増え、2年連続の増加となった。現役生は3年連続、既卒者は3年ぶりの増加である。男子は2年連続、女子は3年連続の増加。女子は前年、増加人数の90.6%を占めたが、今回は40.9%である。

都道府県別では、全体で前年比2.2%増の中、京都の8.0%増を筆頭に29都府県が増加した。23年3月の東日本大震災から5年半以上たった東北3県の出願状況は、福島1.0%増、宮城0.9%増と、2県は増加したものの、岩手は2.5%の減少となった。現役志願率は43.9%で、28年のそれまで最高の43.4%を更新して過去最高。

●志願者数 575,966人(563,768人；12,198人増、2.2%増)

<内 訳>

○高校等卒業見込者(現役生) 471,841人(462,335人；9,506人増、2.1%増)

○高校等卒業生(既卒者) 99,118人(96,454人；2,664人増、2.8%増)

○「高認」合格者・その他 5,007人(4,979人；28人増、0.6%増)

○現役志願率 43.9%(43.4%；0.5ポイント上昇)

○男女別

① 男子 321,495人<55.8%>(314,286人<55.7%>)

② 女子 254,471人<44.2%>(249,482人<44.3%>)

○都道府県別(出身高校等別による)

① 志願者数が増加した主な都府県

京都(8.0%増)／兵庫(6.1%増)／香川(6.0%増)／滋賀(5.1%増)／奈良(4.9%増)／石川(4.5%増)／東京(3.8%増)／愛知(3.7%増)／大阪(3.6%増)／千葉(3.5%増)等

② 志願者数が減少した主な県

長崎(3.6%減)／山梨(3.4%減)／愛媛(2.5%減)／岩手(2.5%減)／島根(2.4%減)／佐賀(1.6%減)／山口(1.6%減)／鹿児島(1.5%減)／栃木(1.4%減)等

③ 現役志願率の高い主な都県

東京(57.1%)／広島(54.8%)／愛知(52.6%)／富山(52.0%)／石川(49.4%)／山梨(48.7%)／群馬(47.3%)／福岡(46.3%)／新潟(46.2%)／埼玉(46.1%)／兵庫(46.1%)等

○成績通知希望別

① 通知希望者 434,879人<75.5%>／② 通知を希望しない者 141,087人<24.5%>

注1. 都道府県別の現役志願率を除く( )内は、28年データ及び28年対比の増減、等。

注2. < >内は構成比率。

注3. 「高認」は高等学校卒業程度認定試験の略。

注4. 本資料における29年センター試験「現役志願率」は、p.5の注④を参照。

## 【特記】

### ① 志願者数

- 29年3月の高卒者数は、今春に比べ約9,000人、0.8%増の約107万3,000人と推測される(旺文社推定、通信制課程含まず)。
- 上記のように、来春の高卒見込者数が約1%増加する状況で、29年センター試験志願者数が前年より1万2,198人(前年比2.2%)増の57万5,966人と、2年連続で大幅に増加した主な背景としては、次のような点が挙げられる。
- 現役生の“大学への進学志向”を示す「現役志願率」(現役志願者数<実数>÷現役卒業生数<中等教育学校後期課程含む>)は、23年(55.4%)～26年(54.9%)の4年間における下降もしくは停滞から、27年55.5%、28年56.1%と2年連続で上昇している。29年もこうした進学志向の高まりは引き継がれているとみられる。
- 前年の難関私立大の合格者数絞込み(定員管理強化)による既卒者の増加と、私立大の公立化による公立2大学のセンター試験全面参加なども志願者数を押し上げた。
- ただ、増加人数の男女別の内訳をみると、前年は4,636人増加のうち、男子435人増、女子4,201人増で、女子が増加人数の90%以上を占めていた。  
29年は、増加人数1万2,198人のうち、女子は4,989人で、40.9%に下降した。
- 私立大のセンター試験利用は、参加大学数が前年より1大学減ったものの、センター試験利用入試の募集人員はほぼ前年並みとみられる。  
なお、29年のセンター試験利用大学・短大は、公立2大学増・私立1大学減の国公私立694大学/私立3短大減の154公私立短大である(28年12月初旬現在)。

### ② 現役志願率

平成2(1990)年のセンター試験(現役志願率15.0%)開始以来、毎年、上昇の一途をたどっていたセンター試験の現役志願率は、23・24年の41.6%(同率)/25・26年の42.1%(同率)と、2度の“停滞状態”を経て、27年は42.5%の上昇に転じた。

28年は43.4%、29年は43.9%と3年連続の上昇で、過去最高を更新した。

### ③ 現役生、既卒者の志願者数

- センター試験志願者の現役生は20年に減少したが、21年～23年は3年連続で増加。24年は4年ぶりの減少、25年は高卒者数の3年ぶりの増加などで2年ぶりに約2万人(4.6%)増の約46万人だった。26年は高卒者数の2年ぶりの大幅減などから、現役志願者も2年ぶりに減少した。27年は、高卒者数の増加と大学「現役志願率」の上昇などから、現役志願者数は2年ぶりに約1万2,000人増の約45万5,000人。28年は、高卒者数は減少したものの、大学「現役志願率」の上昇と現役志向の強い女子の志願者増によって、約7,000人増の約46万2,000人となった。  
29年は高卒見込み者の増加に加え、大学「現役志願率」の上昇などが見込まれ、前年より約9,500人(約2%)増の約47万2,000人となった。
- 一方、既卒者は前年より約2,700人(約3%)増の約9万9,000人で、3年ぶりの増加。

#### ④ 高校等の学科別でみた出願状況

高校等の志願者(現役・既卒含む)の9割以上を占める普通科の志願者数は、前年より1万1,218人(2.2%)増の52万4,479人(構成比率91.9%)である。

このほか、総合学科が1万1,352人(構成比率2.0%、増加率2.2%)、理数科が1万555人(同1.8%、同0.4%)などとなっている。

#### ⑤ 都道府県別でみた主な出願状況

##### \* 志願者数 :

東京が7万3,753人で例年どおり突出していて、これに愛知(3万9,962人)、神奈川(3万6,935人)、大阪(3万3,163人)、埼玉(3万1,703人)、兵庫(2万6,214人)、千葉(2万5,675人)、福岡(2万3,851人)と、28年とほぼ同じような顔ぶれが続く。

今回特に増加した人数が多かったのは、東京(2,729人増)、兵庫(1,515人増)、愛知(1,434人増)、大阪(1,154人増)、神奈川(1,072人増)、千葉(873人増)、京都(825人増)、埼玉(650人増)、静岡(542人増)など。

一方、減少した人数が多かったのは、長崎(219人減)、茨城(182人減)、山梨(164人減)、愛媛(162人減)、北海道(156人減)、岩手(144人減)、栃木(129人減)、鹿児島(112人減)など、地方が目立つ。

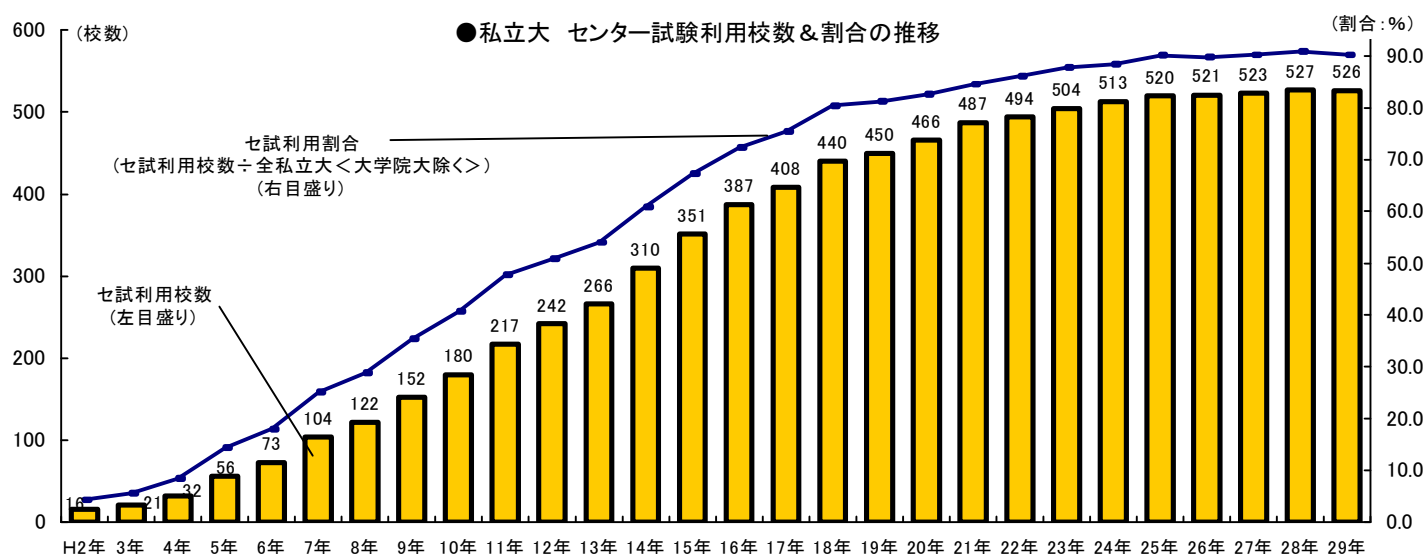
##### \* 現役志願率 :

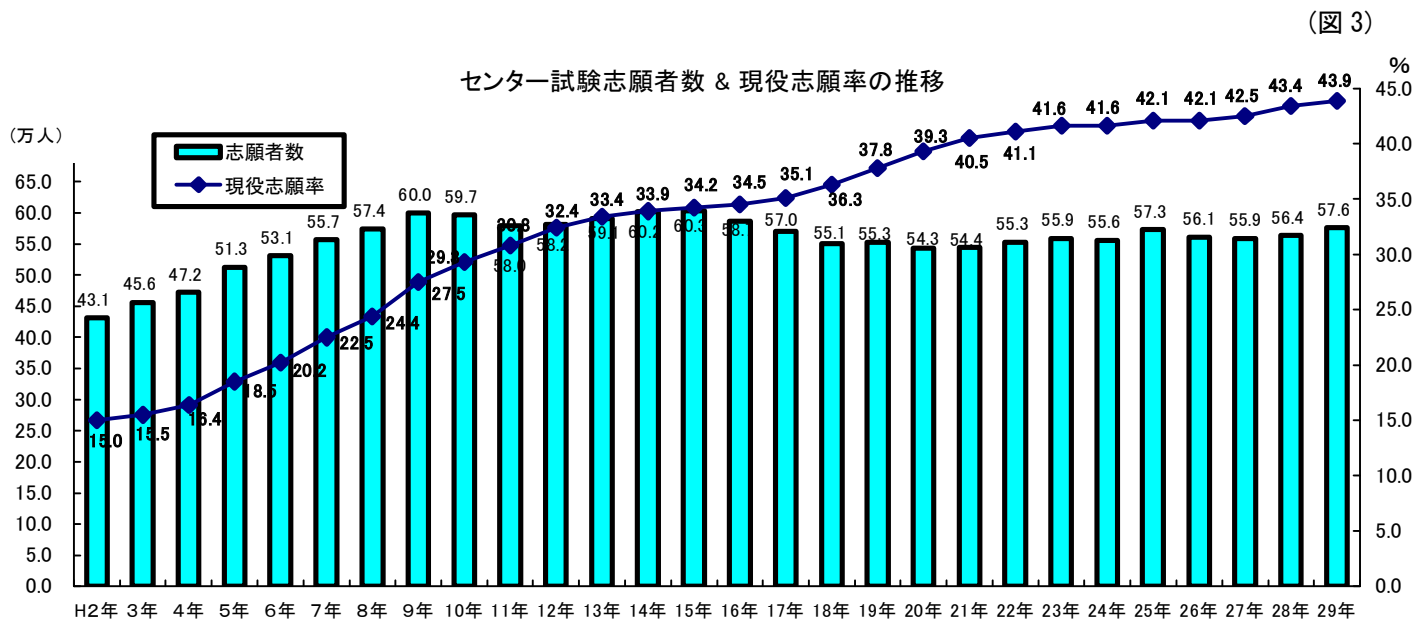
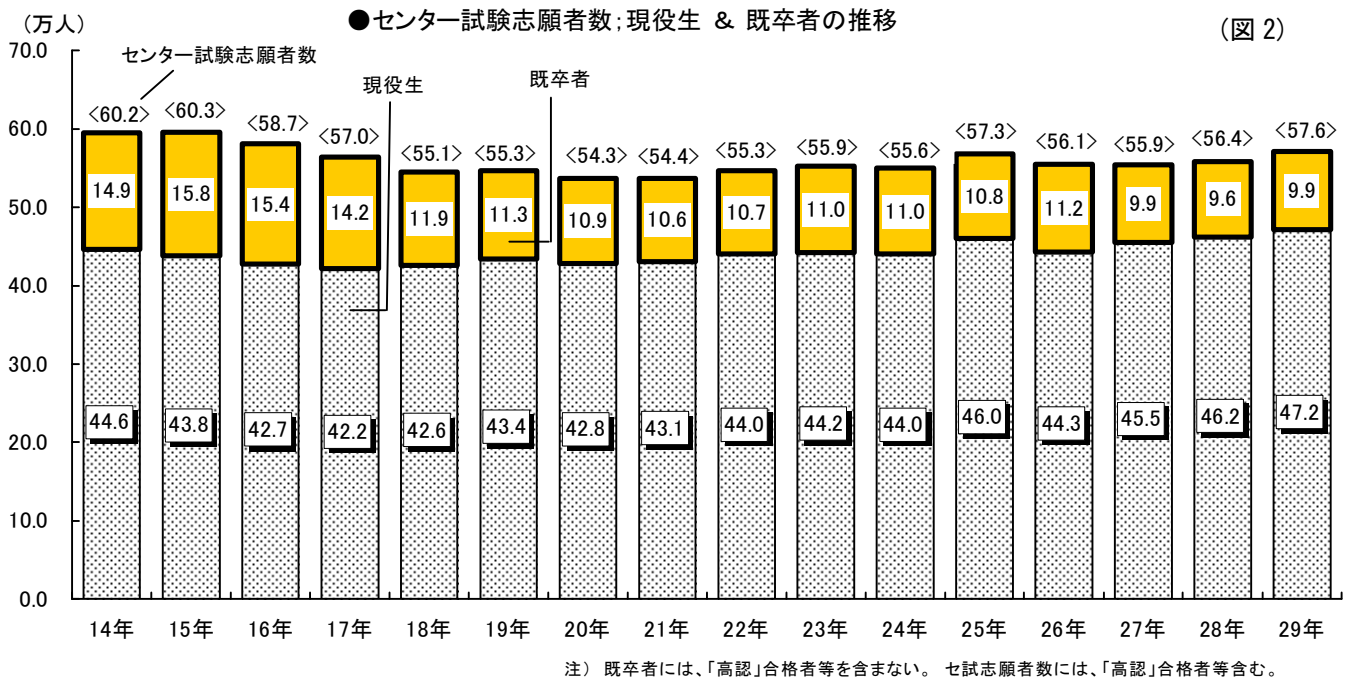
東京(現役志願率57.1%)が5年連続で首位をキープし、これに2位広島(同54.8%)・3位愛知(同52.6%)以下、富山、石川、山梨、群馬、福岡、新潟、埼玉、兵庫、栃木、奈良と、45%以上の高率が続いている。

#### ⑥ 「2教科以下」志願者の割合、前年と同じ3.4%

「2教科以下」志願者は、前年より228人(1.2%)増の1万9,499人で、全志願者に占める割合は前年と同じ3.4%である。

(図1)





☆ 次ページに、「都道府県別 センター試験現役志願率 推移」の一覧を掲載。 ☆

●都道府県別 センター試験現役志願率 推移

	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	2年
1 北海道	34.7%	34.6%	33.5%	33.0%	33.0%	32.9%	32.9%	32.1%	31.3%	13.4%
2 青森	34.4%	34.8%	34.1%	33.8%	34.2%	33.7%	32.8%	32.8%	32.1%	14.5%
3 岩手	42.8%	45.0%	42.4%	42.0%	41.0%	41.7%	40.7%	39.3%	39.7%	15.8%
4 宮城	37.3%	37.0%	37.1%	36.6%	37.1%	35.3%	33.9%	33.7%	32.6%	11.7%
5 秋田	40.0%	39.5%	39.8%	39.3%	39.8%	40.1%	39.9%	39.4%	37.5%	13.9%
6 山形	38.4%	37.9%	38.1%	37.0%	37.0%	39.9%	38.7%	38.7%	38.3%	16.5%
7 福島	35.9%	35.8%	34.2%	33.9%	33.6%	31.9%	32.3%	32.2%	32.0%	12.7%
8 茨城	44.6%	45.2%	44.3%	43.4%	43.2%	42.9%	41.9%	43.2%	42.7%	11.9%
9 栃木	45.7%	45.9%	45.0%	43.7%	43.6%	43.3%	44.8%	44.1%	42.6%	13.1%
10 群馬	47.3%	46.3%	45.0%	44.9%	45.7%	45.7%	44.6%	44.4%	44.5%	13.9%
11 埼玉	46.1%	45.6%	44.1%	42.8%	42.6%	41.9%	42.6%	42.2%	41.2%	9.4%
12 千葉	42.2%	41.2%	40.2%	39.5%	39.7%	39.2%	39.5%	39.7%	39.0%	9.7%
13 東京	57.1%	56.2%	54.9%	53.7%	52.7%	51.3%	50.8%	48.8%	48.3%	11.8%
14 神奈川	44.3%	44.2%	43.0%	42.4%	42.6%	41.7%	41.5%	40.9%	40.2%	10.4%
15 新潟	46.2%	46.9%	46.1%	44.8%	43.5%	42.9%	42.6%	41.4%	42.2%	12.5%
16 富山	52.0%	50.6%	51.6%	51.0%	51.3%	51.7%	52.1%	50.8%	50.8%	27.7%
17 石川	49.4%	48.7%	49.8%	48.0%	48.6%	46.7%	48.0%	48.5%	47.5%	19.6%
18 福井	44.2%	44.3%	44.4%	43.9%	43.6%	43.5%	44.4%	45.4%	43.2%	22.7%
19 山梨	48.7%	49.4%	47.3%	47.5%	47.7%	48.4%	48.4%	48.2%	48.6%	13.8%
20 長野	44.5%	43.6%	41.9%	42.2%	42.8%	44.6%	44.0%	42.9%	42.1%	12.8%
21 岐阜	42.4%	42.3%	41.7%	41.0%	41.6%	40.0%	40.9%	40.7%	39.5%	18.3%
22 静岡	44.9%	44.6%	44.8%	44.7%	44.4%	44.6%	43.9%	43.8%	42.4%	13.8%
23 愛知	52.6%	52.1%	52.3%	51.5%	51.9%	51.4%	51.1%	50.5%	49.8%	21.2%
24 三重	39.7%	39.8%	39.3%	39.6%	40.1%	40.3%	41.0%	40.6%	39.1%	14.6%
25 滋賀	40.9%	39.8%	38.9%	39.7%	39.9%	39.8%	39.7%	40.4%	41.0%	12.8%
26 京都	36.8%	34.7%	34.6%	34.7%	34.7%	35.5%	36.0%	36.7%	36.4%	12.8%
27 大阪	33.8%	32.7%	32.1%	32.7%	32.5%	31.2%	31.7%	31.5%	31.8%	11.9%
28 兵庫	46.1%	44.2%	43.9%	42.9%	43.4%	43.1%	43.4%	43.0%	42.8%	16.4%
29 奈良	45.0%	43.8%	44.5%	43.7%	44.0%	43.1%	42.2%	43.9%	43.8%	15.5%
30 和歌山	34.8%	34.8%	33.0%	34.2%	33.2%	33.9%	34.4%	33.6%	34.1%	11.8%
31 鳥取	43.5%	42.9%	40.8%	42.5%	42.9%	43.2%	43.5%	42.9%	40.8%	21.2%
32 島根	43.2%	45.4%	45.4%	46.1%	45.7%	48.3%	46.4%	47.7%	44.7%	22.9%
33 岡山	42.1%	41.5%	40.1%	40.5%	41.3%	40.5%	40.2%	40.4%	39.8%	25.7%
34 広島	54.8%	54.9%	53.0%	51.8%	51.9%	51.6%	52.0%	50.3%	49.9%	17.6%
35 山口	36.1%	36.9%	35.9%	35.4%	37.4%	37.2%	37.4%	37.3%	35.8%	19.1%
36 徳島	44.1%	43.5%	42.4%	42.5%	44.1%	44.0%	46.3%	44.9%	44.3%	22.1%
37 香川	42.1%	41.5%	38.9%	41.5%	40.1%	40.4%	40.8%	41.7%	40.8%	20.9%
38 愛媛	44.8%	45.6%	44.5%	43.6%	43.4%	42.9%	43.1%	43.5%	43.0%	22.5%
39 高知	39.8%	39.4%	38.1%	37.9%	37.4%	36.4%	37.2%	35.7%	33.4%	14.4%
40 福岡	46.3%	45.9%	45.0%	45.3%	45.0%	44.8%	45.9%	44.3%	43.5%	19.3%
41 佐賀	41.6%	41.8%	40.9%	41.6%	41.4%	40.7%	40.3%	41.1%	41.2%	18.7%
42 長崎	37.8%	38.9%	38.2%	38.7%	38.6%	37.6%	37.8%	38.1%	36.5%	24.3%
43 熊本	35.9%	36.6%	35.7%	36.8%	36.1%	35.9%	35.9%	35.5%	34.0%	17.0%
44 大分	33.5%	33.2%	33.8%	33.4%	34.0%	33.4%	33.7%	34.5%	34.8%	22.6%
45 宮崎	38.8%	37.9%	37.3%	38.0%	37.9%	38.4%	38.3%	39.0%	38.8%	25.7%
46 鹿児島	38.0%	38.5%	37.3%	36.9%	37.6%	37.0%	37.3%	36.7%	35.9%	22.3%
47 沖縄	29.4%	28.7%	27.3%	27.1%	27.2%	27.8%	26.9%	24.6%	24.1%	14.9%
全国	43.9%	43.4%	42.5%	42.1%	42.1%	41.6%	41.6%	41.1%	40.5%	15.0%

注 ①現役志願率＝高校等新規卒業者(高校全日制3年・定時制4年、中等教育学校後期課程3年在学者)における、センター試験志願者の割合。

②2年はセンター試験初実施の値。

③大学入試センター発表資料による。

④29年の熊本県の現役志願率は、新規卒業見込人数が熊本地震の影響で未集計のため、2年次(定時制は3年次)のときの生徒数を基に算出。